



シーサイドカフェのリビング・ダイニング (LDK17.3帖) アクセス階段途中の眺望とオープンスタイルのタタミコーナー (4.0帖)



高圧メラミンのキッチンでカフェのイメージを演出



21.31LDK
土地面積 / 220.00㎡ (33.20坪)
建物面積 / 102.13㎡ (30.74坪)
1F / 98.50㎡ (29.86坪)
2F / 3.64㎡ (1.10坪)

モデル棟 (シーサイドカフェ 37号棟) の間取り

る。管理組合費は月6,500円。現地販売センターの7階まで階段は、今回リノベーションしてデザイン一新。建物のデザインの特徴としては、一般的に企画統一された分譲住宅の枠を超えて、3つの外観スタイルと4つのインナースタイルで建設。1次販売ではシーサイドカフェとホワイトモダンカフェ、2次販売ではナチュラルポップとヴィンテージカフェのデザイン。

右ページ上の写真は、ホワイトカフェのモデルハウス。女性に人気の大理石調の床のリビングと4畳半の和室を組み合わせている。左ページ上の写真はシーサイドカフェのモデルハウス。キッチンはベニシシユラタイプとストレートタイプを選択できる。T.M.J.の高圧メラミンを使ったキッチンが好評でカフェらしさを演出。分譲住宅では9割方タタミスペースが採用されるという。土壌面積は100.104㎡。間取りは3LDK+1.04㎡。モデルハウスは家具込みで最後に販売されている。購入者の反応としては、街並みや電柱地中化に対する好印象や、今回の購入ターゲットであった子育て世代の家族が、分譲地に多く住んでいることなどが評価された。



分譲住宅で4つの内装デザイン 1週間で12棟 完売

街づくり
ホラスグループ
(埼玉県春日部市)

分譲分譲住宅の中でも、街づくり分野では、今後の課題とされている住宅の資産価値の向上に貢献した様々な工夫を見る事ができる。11月14日から埼玉県春日部市で販売を開始した「春日部ザパイクアソシエ」パレットコート(全40棟)は、1期1次販売の12棟がわずか10日間で完売となる人気ぶりだった。引き続き第1期2次販売(8棟)を11月21日より開始しており、2日間で3棟の申込みがあり好調な売れ行きとなっている。販売価格は2,880万円(3,480万円)。

この街区は、平成19年に東武鉄道とコスモエニシアが販売を開始して両社併せて58棟を販売。その後、ホラスグループの中央グリーン開発が参入して、8棟を手掛けしており、今回の分譲は東武鉄道より事業を継承した40棟分。全180棟の最後の新築の街づくりの販売となる。

街並みの特徴としては、セコムのタウンセキニリアシステムで管理、電線の地中化が施されている。柱のない街並みが実現されている。



41.1LDK
土地面積 / 290.00㎡ (43.50坪)
建物面積 / 131.02㎡ (39.73坪)
1F / 25.66㎡ (7.75坪)
2F / 45.36㎡ (13.62坪)

モデル棟 (ホワイトモダンカフェ 37号棟) の間取り



3つの外観スタイル